

## 中学校・高等学校図書館担当者等研修会

6月19日(金)東山地域交流センターを会場に、中学校・高等学校図書館担当者等研修会を開催しました。管内の中高生のさらなる読書活動の推進や、学校間及び関係機関とのネットワーク構築を目的に、講義及び演習を行いました。当日は、中学校及び県立学校の担当者、図書館関係職員など42名が参加しました。

【講義】  
「ステキな図書館の作り方」  
＜講師＞  
県南青少年の家 所長 佐藤敦士氏

講師の佐藤氏からは、校長として勤務した中学校における実践(図書室の環境整備・読書ボランティアとの連携等)が紹介されました。図書館は「本を読む場所」であるだけでなく、「生徒の心の支えやキャリア教育の一部を担う場」でもあることを再認識する機会となりました。



【演習】  
「読書が『楽しい』と感じる生徒を増やすために」  
＜助言者＞  
県南青少年の家 所長 佐藤敦士氏



参加者同士の交流の時間では、地域の公共図書館との連携や他校種における実践等が紹介されたほか、それぞれが課題と感じていること等を共有しました。その後、グループごとに「これからできそうなこと」について協議を行いました。

### 【参加者の声(アンケートから一部抜粋)】

- ・佐藤先生のお話から、図書館づくりは学校全体で行うことで、よりステキな場所・活動になると感じました。様々なアイデアだけでなく、子どもの視点で学校図書館を見ていきたいと思ひます。演習では、他校の担当の方との交流はとても有意義でした。時間が足りないくらいでしたが、生徒の世界が広がるように取り組んでいきたいと思ひます。
- ・学校経営の視点から学校図書館の在り方について示唆やご教示をいただけたことは本当にありがたいと感じました。担当が頑張っているかどうかになりがちな部分もあるので、地域との連携の在り方や学校から地域へのアプローチなど、学ぶところがたくさんありました。市の生涯学習課や学区内の高校さんとの連携も深めていきたいと思ひました。
- ・講義の内容がうなずけるもので、その通りだなと思えるものでした。楽しい読書とは…と再度考える機会をいただけた講義でした。周囲の力を借りて生徒が本に興味を持てる図書館をつくるということ、チャレンジしてみたいと思ひます。公共図書館とうまく協力できればと思ひます。

令和7年度「岩手県子どもの読書状況調査」では、約8割の児童生徒が「読書が楽しい」と回答しています。これは、各学校が日頃から取り組んできた読書活動の成果と考えられます。今後も、読書活動のさらなる充実に向けた取組をお願いいたします。

# 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

7月2日（木）前沢ふれあいセンターを会場に、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催しました。管内各地域において円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入やその取組方策について理解を深めるため、実践紹介やワークショップ、講義及び演習を行いました。当日は、小・中学校及び県立学校の教職員、地域コーディネーターやPTA役員等の地域住民、行政関係者など92名が参加しました。



## 【実践紹介・ワークショップ】 「協議会と歩んだ“うちの学校の今”」

＜コーディネーター＞

岩手県生涯学習振興協会 事務局長  
いわてCSアドバイザー

佐々木 勉 氏

＜実践発表者＞

奥州市立岩谷堂小学校 副校長 小野寺 良 明 様  
一関市立萩荘小学校 校 長 熊 谷 浩 二 様

実践紹介では、小野寺副校長先生、熊谷校長先生から、各学校における学校運営協議会の様子や地域学校協働活動の具体的な取組について紹介していただきました。

岩谷堂小学校と萩荘小・中学校の実践から「地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の必要性」や「伝統芸能の継承を軸とした小・中学校のつながり」等について理解を深めることができました。また、グループ協議をとおして、地域と学校が連携・協働することの意義を再認識する機会となりました。

## 【講演】

「地域と学校が協働して活動するために  
～制度の効果的な活用法を探る～」

＜講師＞

岩手県生涯学習振興協会 事務局長  
いわてCSアドバイザー

佐々木 勉 氏



講師の佐々木氏からは、「地域と学校が協働するための3つの制度（学校運営協議会・地域学校協働活動・社会に開かれた教育課程）」や、「地域に愛着をもった児童生徒の育成に向け、手段を有効活用しながら緩やかに活動すること」について、紫波町での実践事例を交えながらお話をいただきました。

演習では、学校と地域の協働に必要なことについてグループごとに協議を行いました。協議をとおして、多様な考え方に触れながら、連携・協働を進める上で必要な視点への理解を深めることができました。

全体をとおし、学校運営協議会の在り方や地域とのつながりについて見つめ直す機会となりました。

## 【参加者の声(アンケートから一部抜粋)】

- ・今回のフォーラムに参加して、「学校と地域がつながることの良さ」について改めて考え、学ぶことができました。手段がいくつかあり、学校運営協議会も熟議も手段として活用し、子どもたちを育てるため、意識を共有していくことが大切だと分かりました。
- ・少人数で協議し合うことで活発に意見を出し合い、得るものがありました。講義・演習でランキングをグループ協議した際に、違う視点からの意見で皆の意識が変わったのがとてもおもしろく、これが熟議なのかと思いました。

県南教育事務所管内では、すべての小・中学校においてコミュニティ・スクールが導入されています。今後は、それぞれの地域の特色を生かしながら、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域に愛着や誇りをもった児童生徒を地域とともに育てていくことが期待されています。

県南教育事務所では、コミュニティ・スクールと教育振興運動・地域学校協働活動の一体的な推進に向け、各市町や学校等への伴走支援を行っています。詳細につきましては、お気軽に社会教育担当までご相談ください。

